

平成30年度コミュニティリーダー研修会

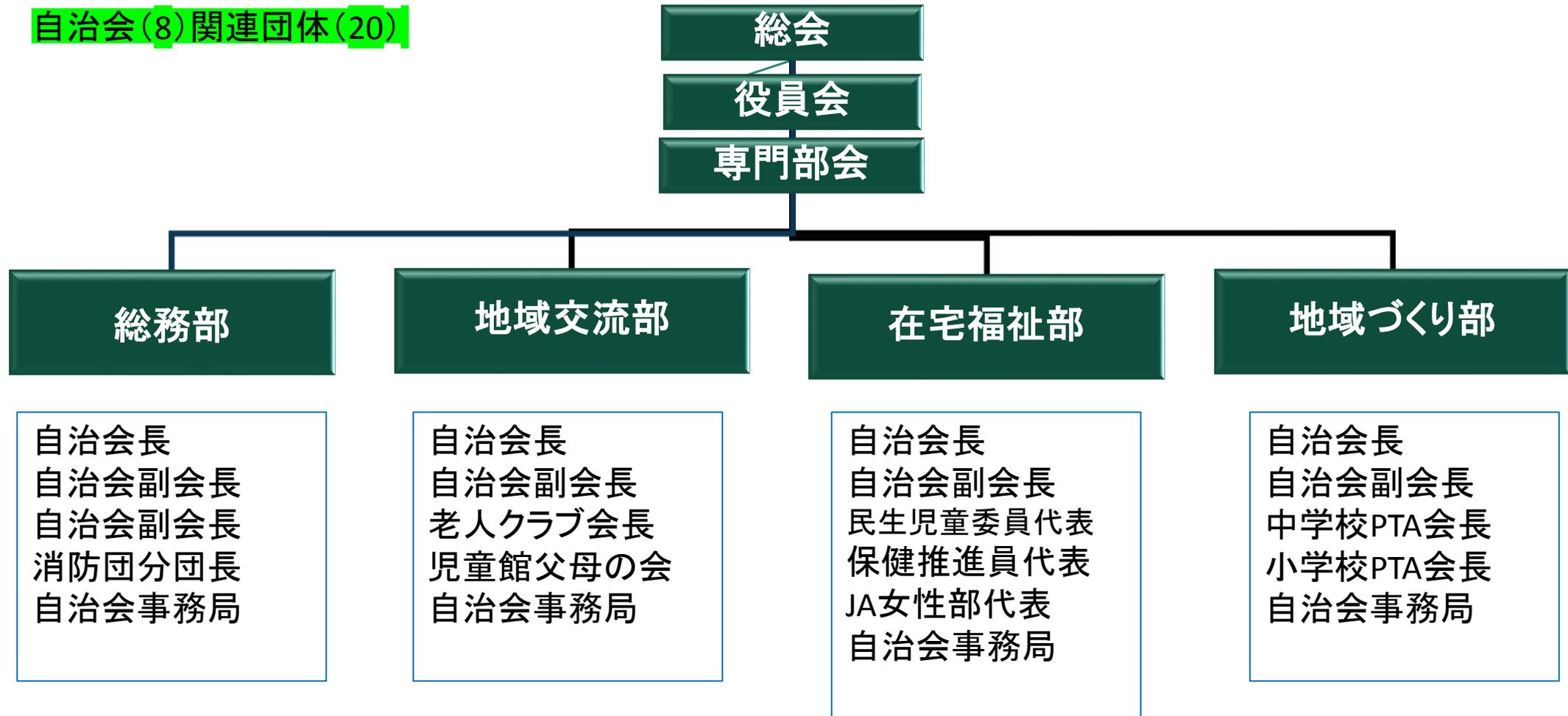
豊かな自然と伝統文化を  
生かした安心して暮らせる  
地域づくり

玉山藪川地区福祉推進会

会長 米島博悦

# 玉山藪川地区福祉推進会組織図

自治会(8) 関連団体(20)



# 玉山藪川地区概要

## 玉山藪川管内

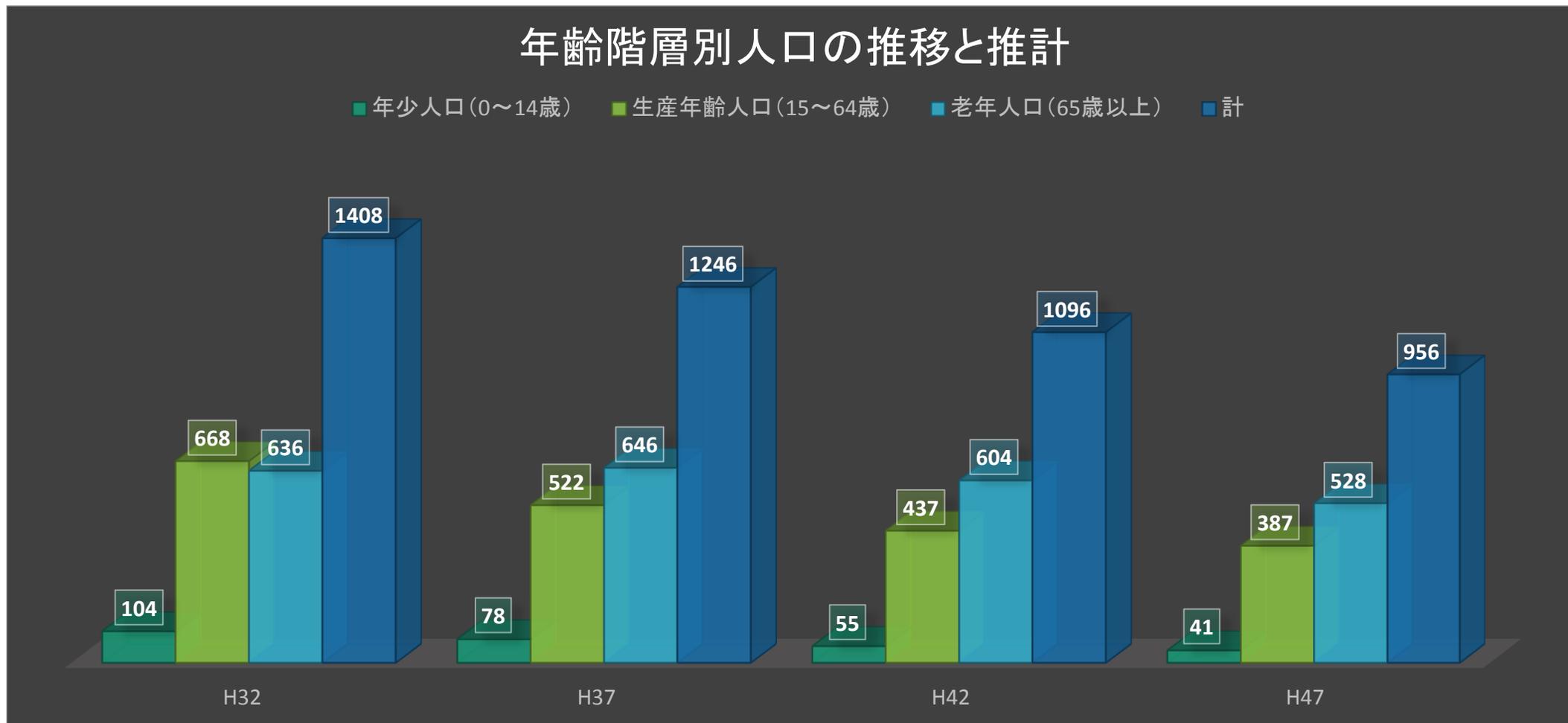


# ■ 玉山藪川地区の人口の推移と推計

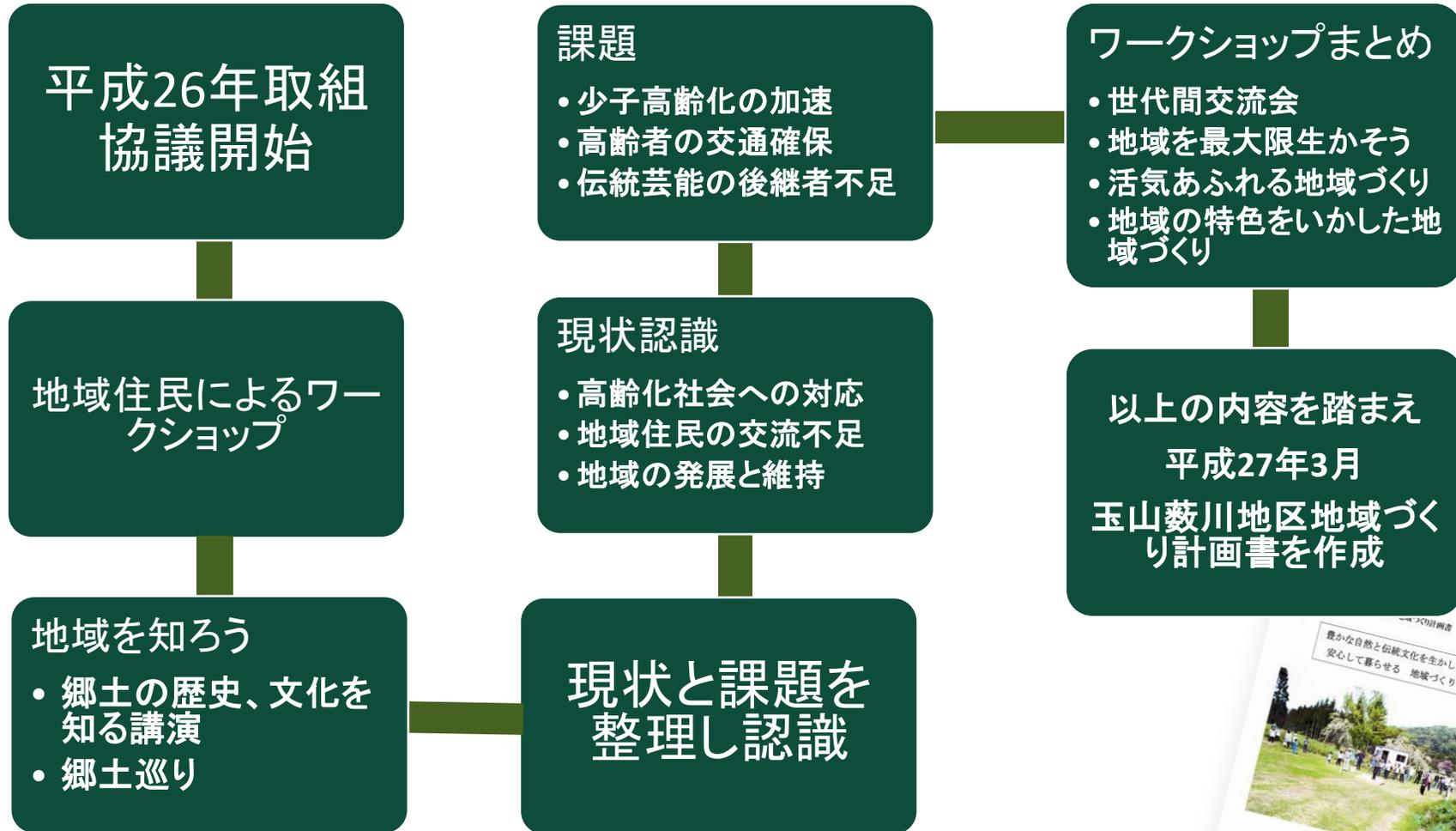
平成31年1月現在の人口 1,457人

(盛岡市まちづくり研究所資料参照)

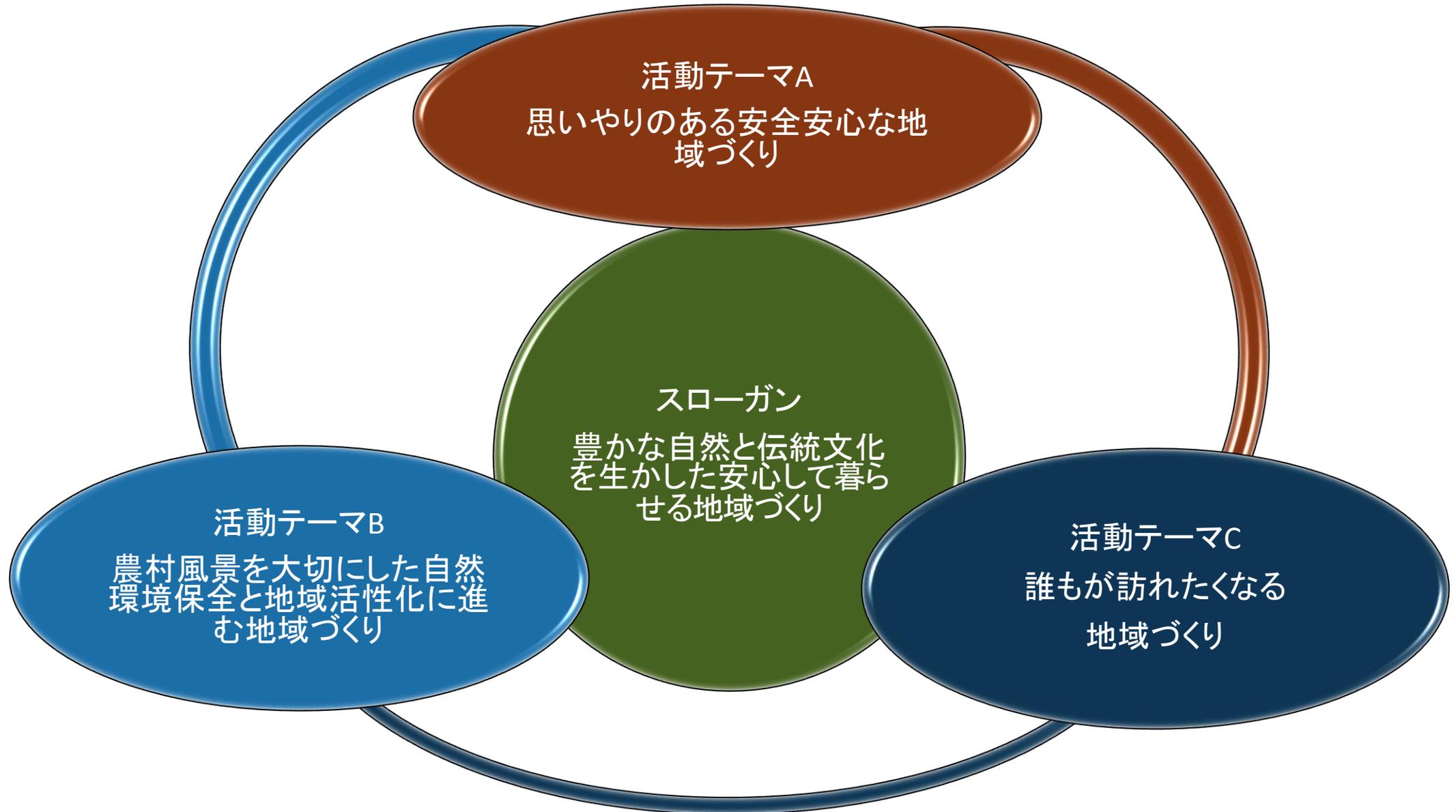
(平成26年度)



# 玉山藪川地区地域づくりの経緯



# 活動内容テーマ



思いやりのある安全安心な地域づくり

暮らしやすい安全な地域づくり

支え合いの地域づくり

農村風景を大切に  
した自然環境保全  
と地域活性化に進  
む地域づくり

自然環境  
の保全

地場産業  
の振興

誰もが訪れたいくなる  
地域づくり

歴史を学び  
育てる

自然を生かした交流  
の推進

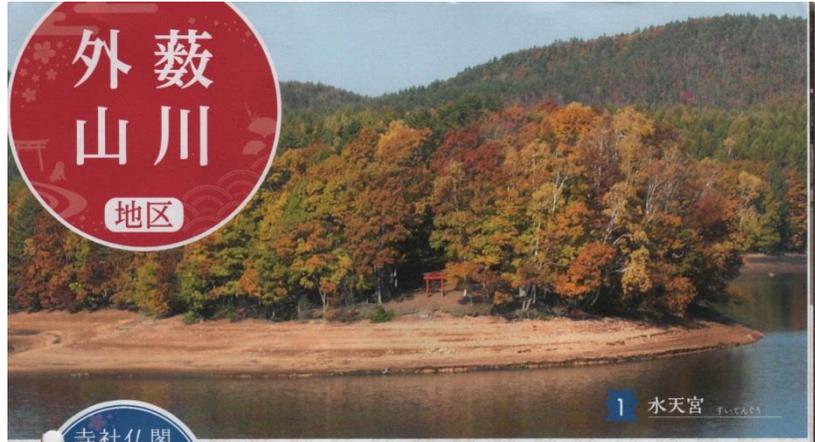
玉山藪川地区

# お宝マップ

—玉東に眠る神秘の歴史が蘇る—

## 活動内容

お宝マップ作成



# 外藪山川

地区

1 水天宮 すいてんぐう

## 寺社仏閣



2 住吉神社 すまじしんじや  
 勧請年月等不詳。明治3年6月藪川村の村社となりました。山の神・海の神・五穀豊穡の神を祀っています。



3 毘沙門堂 ひしゃもんどう  
 寛永15年5月盛岡市恩流寺二世 胡岸存大和尚の開創と伝えられています。



4 外山神社 そとやまじんじや  
 大正14年に創建され、天照皇大神を祀りました。創建の際、伊勢太歳用材をいただき観して納められた。昭和34年に現在地に社殿を建立し、後に牛馬の碑も建てられています。

## みどころ



1 岩洞湖ドーム船 いわどうこくドームせん  
 水上ワカサギ釣りオープン前の11月上旬から5月上旬まで、ワカサギ釣りが楽しめます。初めての方には特にオススメ。悪天候の中でも楽しめます。



3 六地藏と車塔婆 ろくじざうとくるまとうば  
 地元の人たちは車塔婆の鉄の輪を上から下へ回して「晴れ」を、下から上へ回して「雨」を願い、その年の農作物の豊作を祈り、旅人は上から下へ7回回して旅の安全を願ったと伝えられています。



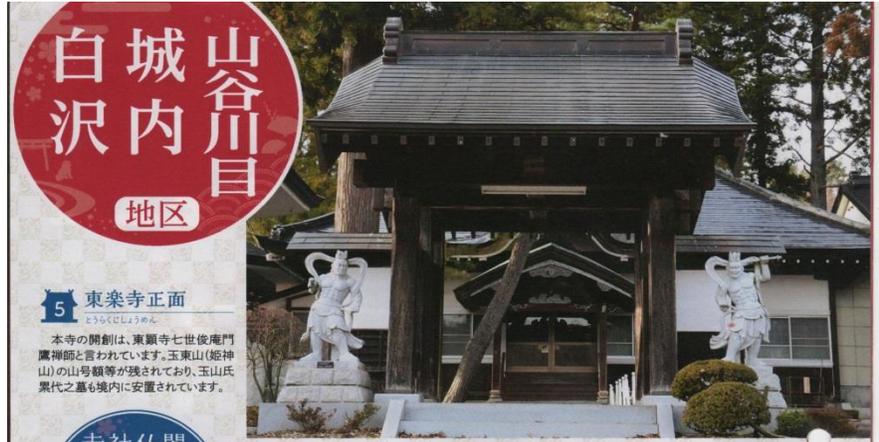
4 御料牧場跡地 ごりょうぼくじょうあとち  
 明治24年7月、それまでの外山牧場は宮内省所管の御料牧場として発足しました。大正11年岩手県に移管されるまで30有余年の長きにわたり、御料牧場として経営され、この間多くの業績をあげました。



2 外山節発祥の地 そとやまふしはつしょうのち  
 御料牧場当時、外山に「きちさん」と「ふゆさん」という娘があり、草刈作業の中で、この二人に編み出された作業唄が、「外山節」のもととなったと伝えられています。



5 盛岡農業高等学校 発祥の地 もりおかのうりこうこうがっこうはつしょうのち  
 明治12年8月、外山牧場内に獣医学舎が設置されました。現在の外山ダムの東端地域がこの位置にあたるため、石碑が設置されています。



# 白城山

地区

5 東楽寺正面 とうらくじしょうめん

本寺の開創は、東楽寺七世俊庵門下禪師と言われています。玉東山(姫神山)の山号額等が残されており、玉山氏累代之墓も境内に安置されています。

## 寺社仏閣



(東楽寺境内)  
 5 玉山十一面観音堂 たまやまじゅういちめんくわんのんどう  
 東楽寺境内にある玉山十一面観音堂収蔵庫には、木造十一面観音立像と仁王像が安置されています。お盆の8月16日には境内で盆踊り大会が行われます。



6 姫神嶽神社 ひめがみだけじんじや  
 姫神嶽神社には、拝殿や神楽台などがあり、秋の例大祭に玉山神楽保存会による神楽が奉納されています。(祭日9月14日。現在は、9月の休日に行われることが多い。)



7 山谷川目観音堂 やまがわのめくわんのんどう  
 山谷川目十一面観音堂ともいわれ、平安時代の作とされる木造十一面観音立像が安置されています。



6 玉山のシダレアカマツ たまやまのしだれあかまつ  
 各枝はほぼ垂直に下枝した極めて珍しいアカマツで、樹齢186年前後と推定され、昭和49年(1974)天然記念物に指定されています。

# 川又 釘の平 日戸

## 地区



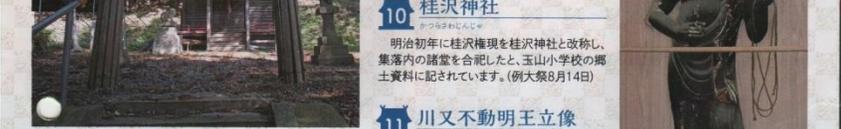
**8 常光寺**  
寛永年間(1624~1654年)報恩寺六世により報恩寺の末寺として開創されました。一時青森県野辺地に移転しましたが、再び日戸へ移り、第15世の代に観音堂境内の現在地に移されました。江戸時代末期に火災に遭い、再建されています。日戸十一面観音は観音堂に安置されていたものです。現存の門前杉は観音堂の参道に植えられたものです。  
詩人石川啄木の父第22世一嶺は、明治4年頃寺小屋を開きました。啄木は明治19年2月20日(実暦は明治18年10月28日)この地で生まれました。境内には、言語学者「金田一京助博士」が揮毫した「啄木生誕の地」の碑も建立されています。



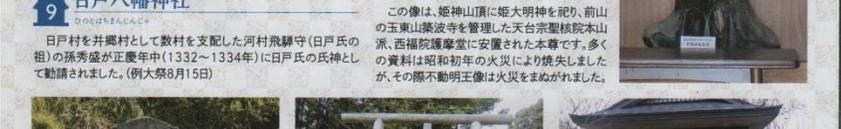
**10 桂沢神社**  
明治初年に桂沢権現を桂沢神社と改称し、集落内の諸堂を合祀したと、玉山小学校の郷土資料に記されています。(例大祭8月14日)



**11 川又不動明王立像**  
この像は、姫神山頂に姫大明神を祀り、前山の玉東山藏波寺を管理した天台宗聖核院本山派、西福院蓮摩堂に安置された本尊です。多くの資料は昭和初年の火災により焼失しましたが、その際不動明王像は火災をまぬがれました。



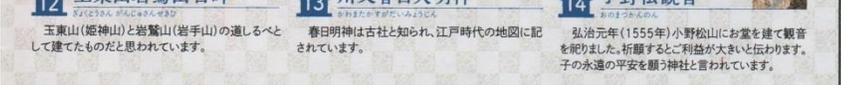
**9 日戸八幡神社**  
日戸村を井郷村として敷村を支配した河村飛騨守(日戸氏の祖)の孫秀盛が正慶年中(1332~1334年)に日戸氏の氏神として勧請されました。(例大祭8月15日)



**12 玉東山岩鷲山石碑**  
玉東山(姫神山)と岩鷲山(岩手山)の連するべとて建てたものだと思っています。



**13 川又春日大明神**  
春日明神は古社と知られ、江戸時代の地図に記されています。



**14 小野松観音**  
弘治元年(1555年)小野松山にお堂を建て観音を祀りました。祈願するとご利益が大まといと伝わります。子の永遠の平安を願う神社と言われています。

# 郷土芸能



**1 藪川神楽**  
住吉神社に伝わる天保15年の神楽本には、岩戸開きは7舞が記されていますが、現在では8月16日の祭礼に17舞が奉納されています。舞の優雅さと装束は特筆すべきがあります。



**2 日戸神楽**  
明治8年正月に神楽和合講を結成、下厨川の日吉朝賢に師事して習得。伝授された「御神楽十二神将舞」は24の演目があり、毎年8月15日に八幡神社例大祭で奉納しています。



**3 玉山神楽**  
姫神嶽神社別当で元天台宗修験の熊沢氏が西福院神楽を引き継いで奉納したことに始まると伝わっています。毎年、例大祭に玉山神楽の奉納を行っています。



**4 釘の手念仏剣舞踊り**  
安政3年(丙辰)10月、佐藤遊之進より吉田長作が師事を受けて創設したもので、吉田長作が北海道に転任後、元居番八に引き継がれ現在まで絶えることなく引き継がれています。



**5 外山駒踊り**  
大正14年に細越山の山頂に作られた駒形神社の魂入れにあたり、馬産地としての願いを踊りに託したのが外山駒踊りです。外山神社の例大祭に奉納してきましたが、踊り手の減少により平成23年以降活動を休止しています。



**7 日戸館跡**  
日戸の中央に延びる八幡森の丘陵の先端を深い掘割で区分した三郭からなっています。この館跡には、南部藩重臣河村宗日戸氏が居ました。



**8 釘の平館跡**  
釘の平には、この館と堀館の2カ所あります。また、川又には川口平館(小野松観音、鎌田氏の館)、町川又館(春日大明神の上)の館跡があります。



**9 玉山館跡**  
大館小館の二つの曲輪で構成され、深い堀切や空堀があります。空堀跡の大きな溝は1.5km続き用水路・通路及び金の採掘等と関連があると言われています。



**10 二子沢館跡**  
集落の玄関口にあり、押し寄せる敵を迎え討つ館で、玉山館の支城、前立てともいわれています。

# 旧跡



歴史の足跡を辿る

たまやま  
やぶかわ

# 歴史散策

このマップは地域の歴史や遺産を学び、後世に伝えるために作成したものです。



家族でお出かけに!  
レジャースポット

**玉山蘆川地区の歴史となりたち**

玉山蘆川地区には、縄文時代から人類が居住し、日戸、二子沢、小石川、岩洞湖に遺跡が残っています。玉山人と日戸氏が南部藩の家臣として治めていた時代に地域内の神社仏閣が建造され今も残っており、神社に奉納する神楽も伝承されています。姫神山は山岳信仰、修験者の修行の場、伝説の山としての歴史があります。山麓一帯には金脈脈があり岩玉金山等の黄金の山として栄え、戦後まで採掘していました。また詩人石川啄木生誕の地常光寺、外山の御料牧場跡地、塩の道、その他多くの歴史遺産があります。



**岩洞第一発電所**  
昭和35年12月完成、地下300mにある日本有数の地下式発電所。内部を見学することもできます。※夏季休館  
☎ 019-661-4290(総合施設管理課)



**さくらパーク日戸**  
平成9～10年に玉山村民総出で植栽した1万本のオオヤマザクラの里。雄大な自然とパークゴルフも楽しめる憩いの場です。  
☎ 090-9745-8654(合同会社ひのと)



**岩洞湖家族旅行村**  
キャンプ場やおまつり広場、テニスコートなど、遊びと自然を満喫できます。シャワーやランドリーも完備されているので快適。  
☎ 019-681-5235(岩手県立岩洞湖家族旅行村)



**岩洞湖でワカサギ釣り**  
冬の岩洞湖は厚い氷で覆われ、ワカサギ釣りに賑わいます。釣具の貸出もあり、初心者でも安心して楽しめます。  
☎ 019-681-5678(岩洞湖漁協)



**外山森林公園**  
キャンプ場やアスレチックを備えた体験施設。バーベキューや家族で楽しむ雨天利用施設があるので天候を気にせず満喫できます。  
☎ 019-681-5132(盛岡市外山森林公園管理事務所)



**岩洞活性化センター**  
150人収容の大ホールがあり、多目的利用可能な施設です。岩洞湖の自然に触れながら、研修や学習にご利用できます。  
☎ 019-681-5141(岩洞活性化センター)

- 凡例
- ① 神楽
  - ② 寺社仏閣
  - ③ みどころ・旧跡
  - ④ レストラン・食堂
  - ⑤ ガソリンスタンド
  - ⑥ 神社
  - ⑦ 寺院
  - ⑧ コミュニティセンター
  - ⑨ レジャースポット
  - ⑩ 文化財他
  - ⑪ 発電所
  - ⑫ 郵便局
  - ⑬ 役所
  - ⑭ 駐在所
  - ⑮ 学校

# 地域名所旧跡看板

・外山御料牧場跡地

・外山節発祥の地



## 9 日戸八幡神社

日戸村を併合村として数村を支配した河村飛騨守（日戸氏の祖）の孫秀盛が正慶年間中（一三三三年～一三三三年）に武運長久を祈願して八幡宮を創建したと伝えられている。明治三年六月に村社に制定された。大正十四年四月三十日、社殿及び神楽殿が火災に遭い焼失。大正十五年八月に再建されている。（例大祭八月十五日）

## 2 日戸神楽

盛岡市指定  
無形民俗文化財  
明治八年正月に日戸村有志が神楽和合講を結成し、下厨川村の日吉朝見に師事し習得。伝授された「御神楽十二神将舞」は二十五の演目があり、毎年八月十五日に日戸八幡神社の例大祭で奉納している。

## 7 史跡 日戸館跡

日戸館は、東から西側に張り出した細長い丘陵先端、比高四十メートルに築かれた、東西二〇〇メートル、南北一五〇メートルほどの平山城で、館の北側と南側は段丘、東側の丘陵基部は堀で遮断して城域を区画、城域の縄張りには上館、中館、下館の階段状に構築された典型的な「二二三」構造になっている。特徴は、比較的緩斜面になっている南側の斜面の防御ラインを強固にするため斜面に敷設された三重構地、基本的には在地領主の日常居館、開発拠点として築かれたと推測される。築城時期は不明だが、城主は鎌倉末期、相模の住人河村秀高の子秀清といわれる。伝承によると正慶年間（一三三三年～一三三三年）に日戸南部信長公から軍功により日戸村を与えられ日戸館を築き日戸氏を名乗った。中世末期には朝部氏に従い、日戸内膳秀恒は盛岡城築城の際に奉行並職を務めている。その後、慶長三年（一六〇八年）当主日戸内膳秀恒の孫重秀が、野辺地城代をせられ日戸を離れた。この際、日戸城は焼却されたと思われる。館の西南に広がる台地は縄文早期の日戸遺跡としても知られている。

平成三十年二月 玉山坂川地区福祉推進会



地域名所旧跡看板作成(日戸地区)

# 地域名所看板

## ・山谷川目菩薩立像



## ・玉山シダレアカマツ



# スポーツ交流会・昼食会



# スポーツ交流会





# ふれあい昼食会

---

# シルバーメイト事業 メイト研修会

---



# 世代間交流会





# 世代間交流会 そば作り体験

---



# 世代間交流会（新春餅つき体験）

---



ご清聴ありがとうございました

岩洞湖の夕焼け